

どうして今
「市町村合併」なの？

地方分権の推進

地方分権は住民に身近な行政の権限をできる限り地方自治体に移し、地域の創意工夫による行政運営を推進できるようにする取り組みです。このため、住民にとって望ましいまちづくりや行政サービスを提供するために必要な専門的な人材や組織、財政基盤の強化が求められています。

少子高齢化への対応

社会は少子高齢化へと大きく変化しています。大館市における高齢化率（全人口に占める65歳以上の割合）は25・4%と高い比率になっており、年々増える傾向にあります。また、出生数も減少傾向にあり、着実に少子化が進んでいます。このため、介護保険制度の円滑な運営などの福祉政策の充実や子育て支援体制の強化がますます大きな課題となっており、財政的な負担や人材の確保が心配されます。

多様化する住民ニーズへの対応

価値観の多様化、技術革新の進展にともない、住民が求めるサービスも多様化・高度化しています。これに対応するため、専門的で高

度な能力を有する職員の育成、確保が課題となっています。生活圏の広域化への対応

道路網や交通手段、情報通信などの発達により、私たちの「日常生活圏」は飛躍的に拡大しています。特に、都市近郊では市町村の区域を越えて市街地が連続していることから、より広い観点から一体的なまちづくりを進める必要があります。

効率性の向上

各市町村が厳しい財政状況にある中で、より効率的な行政運営が求められています。とりわけ、隣接市町村での類似施設の建設には批判があります。



期待される主なこと

行財政基盤が強化されることで、高齢者などへの福祉サービスの充実や安定が図られます。

窓口サービスや文化施設、スポーツ施設など公共施設の広範囲な利用が可能になります。保健、土木などの専門的で高度な能力を有する職員を確保・育成することができ、行政サービスの向上が期待できます。

広域的な視点から道路や市街地の整備、文化施設やスポーツ施設など公共施設の建設を効率的に実施することができ、より効果的なまちづくりを進めることができます。

重点的な投資が可能となり、地域を活性化させるための大型プロジェクトを実施できます。役所、役場内の管理部門が統一され、サービス提供や事業を直接担当する部門を強化することで、全体的に少ない経費でより高い水準の行政サービスが可能となります。

より大きな市町村の誕生は地域のイメージアップにつながり、企業進出や若者の定着、重要プロジェクトの誘致などが期待できます。

心配されること

市役所が遠くなり今までより不便になるのでは。職員や議員の数が減るなどで住

大館市・比内町・田代町の現況

	大館市	比内町	田代町	合計
人口(11国勢調査)	66,293人	12,095人	7,900人	86,288人
世帯数(11国勢調査)	世帯 22,808	世帯 3,530	世帯 2,341	世帯 28,679
面積	401.54km ²	205.39km ²	306.77km ²	913.70km ²
議員数(条例定数)	28人	20人	18人	66人
職員数(病院を除く)	563人	134人	116人	813人

民の声が届きにくくなり、きめ細かな行政サービスが受けられないのでは。

中心部だけが良くなり、周辺部はさびれてしまうのでは。地域独自の風土や気質、郷土の文化や伝統などが失われてしまうのでは。

水道料金などの公共料金が高くなるのでは。

「合併」に関する
勉強会を行っています

以上のようにいろいろな問題が